

平成21年度科学研究費補助金実績報告書（研究実績報告書）

1. 機関番号 4 2 6 7 6 2. 研究機関名 大妻女子大学短期大学部
3. 研究種目名 基盤研究(C) 4. 研究期間 平成18年度～平成21年度
5. 課題番号 1 8 5 0 0 6 4 2
6. 研究課題名 摂食障害者の食に対するストレスから考察する食の意義と食教育への応用

7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
8 0 2 3 6 3 3 0	フリガナ タカハシ ユリア 高橋 ユリア	家政科	准教授

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		
	フリガナ		

9. 研究実績の概要

下欄には、当該年度に実施した研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、交付申請書に記載した「研究の目的」、「研究実施計画」に照らし、600字～800字で、できるだけ分かりやすく記述すること。また、国立情報学研究所でデータベース化するため、図、グラフ等は記載しないこと。

摂食障害者学生に毛髪中ミネラルバランス結果を提示することにより、本学生の精神的サポートとなり、精神的に役に立った事例が得られたので、この点に重点を置き、教育現場での指導という観点から、検討した。

障害者の食へのこだわり、食概念、食行動から、女子教育、食教育に携わる現場の者として、なんらかの形で、食教育に応用できないか、教育者としての適切な対応はどのようにしたらよいか、という事について、考察する事を目的とした。

研究調査協力の承諾を得た、摂食障害者 261 名、摂食障害者の家族 212 名に、食概念、食行動、ストレス、家族への思い等について、対面式聞き取り調査を行った。

摂食障害者は、食べる事を拒否したり、食べたものを全て吐いたり、食を排除する行動とは反対に、食に対するこだわり、関心は非常に強い傾向にあった。すなわち、食に関する情報や、食品の kcal についても非常に詳しく、熟知している者が多い。食というスケールで、自分の周りの全ての事象を捉えている傾向にある事を、教育の現場の人間として、理解し目をむけ、対応する事が大切ではないかと考える。

10. キーワード

- | | | |
|----------|--------------|--------|
| (1) ストレス | (2) 摂食障害 | (3) 教育 |
| (4) 食 | (5) 過食症 | (6) 亜鉛 |
| (7) 毛髪 | (8) ミネラルバランス | |

(裏面に続く)